指導の手立ての例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | 指導の手立て |
| 聞　く |  | 注意を向けさせて話をする |
|  | 具体的に簡潔に話す |
|  | 一度に指示する（話す）量や数を設定しておく |
|  | 見通しをもたせるためにあらかじめ要点を挙げる |
|  | 見通しをもたせるために、手順を表示しながら説明する |
|  | あらかじめ聞く態度を指示する |
|  | 理解しているか個別に再質問する |
|  | 聞いたことを自分の中で繰り返し話してみるよう指導する |
|  | あらかじめ話す内容をメモにして渡す |
|  | メモの取り方、録音の仕方等を指導する |
|  | 録音機器の使用を認める（ICレコーダー等） |
|  |  |
|  |  |
| 話　す |  | 子供が話したことを適切な言葉で言い換える |
|  | 言葉が出ないときに、選択肢を提示する |
|  | あらかじめ話すことを書いておかせる |
|  | あらかじめ例文を提示しておく（「いつ・どこで・誰が・どうした」「事実・意見・理由・根拠」等） |
|  | 気持ちに共感しながら、話を聞く |
|  | 話すスピードを指導する |
|  |  |
|  |  |
| 見　る |  | 注意を向けさせて提示する |
|  | 図や文字を拡大して提示する |
|  | 注目して欲しい部分を〇で囲んだり指し示したりする |
|  | 板書のチョークの色や字の大きさを各教科統一する |
|  | プリントや試験問題のフォントやサイズを各教科統一する |
|  | 一度に提示する図や表の数を調整する |
|  |  |
|  |  |
| 読　む |  | 定規や紙をあてて、他の行が見えないようにする |
|  | 単語や文節ごとに斜線を入れる |
|  | 漢字に振り仮名をつける |
|  | 事前に読むところを伝えておく |
|  | 拡大教科書を使用する |
|  | 問題文等を読み聞かせて解かせる |
|  | プリントのフォントやサイズを調整する |
|  |  |
|  |  |
| 書　く |  | プリントやノートの枠、罫線の幅を調整する |
|  | 板書をプリントにして机上に置かせる |
|  | 書き写す量を調整する（板書の穴埋めプリント、プリントをノートに貼る等） |
|  | あらかじめ例文を提示しておく |
|  | 作文等を書くときに手掛かり（写真や絵）を提示する |
|  | 漢字のへんやつくりを色分けして提示する |
|  | 文字の構成などを言葉や絵で補う |
|  | テストの解答の許容度を広げる（漢字のとめ、はね等） |
|  | パソコン、ワープロソフトなどの使用を認める |
|  | 傾斜板、カットテーブルなどを使用する |
|  |  |
|  |  |
| 計算する |  | 具体物、半具体物を使用して教える |
|  | マス目のあるプリントで計算をさせる |
|  | 計算の順序などを言語化する |
|  | 計算機の使用を認める |
|  | 文章題を読み聞かせる |
|  | 文章題のキーワードに印をつける |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 学習環境 |  | 座席の位置を工夫する |
|  | 椅子、机の高さを調整する |
|  | 黒板周辺を整備する |
|  | ロッカー、棚、掲示物等の整理の仕方を掲示する |
|  | 宿題の量を調整する |
|  | 課題の提出期間を調整する |
|  | 板書やテスト解答の時間を調整する |
|  | 個別指導や少人数指導の時間を設ける |
|  | チームティーチングで指導する、教育支援員を活用する |
|  | 混乱したときに落ち着くことができる場所を準備する。 |
|  | 板書の代替物を認める（プリントを貼る、デジカメで撮る等） |
|  | 椅子の音や廊下、周囲の物音を可能な限り排除する |
|  | 時間割や1日の流れ、教室移動などを視覚的に提示する |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| コミュニケーション・対人関係 |  | 友達のよさを教師自身が話すことに心掛ける |
|  | 互いに認めあう機会を設ける |
|  | 感情のコントロールができるようにする（落ち着くまで自らその場を離れる等） |
|  | トラブルの場面をロールプレイで振り返る |
|  | 友達の誘い方や仲間への入り方などの練習をする |
|  | 人の役に立つ機会や褒められる場を設ける |
|  | 望ましい行動を視覚的（図、絵、本等）に提示する |
|  | ストレスへの対処法を一緒に考える |
|  | 相手の言葉、表情、ジェスチャーなどに気付かせる |
|  | 自分の障害や特性について理解させる |
|  | コミュニケーション代替手段を使用する（絵カード、タブレットPC等） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 行動・情緒 |  | 約束事が守れたり、望ましい行動がとれたりしたときは、すぐに褒める |
|  | 当たり前のことであっても適切な行動（椅子に座っている、大声を出さない等）ができていたら、言葉で褒める |
|  | 守るべきルールや約束事を子供と相談して決める |
|  | 混乱したときにどうすればよいのかを子供と相談して決める |
|  | 注意をひくために起こしている行動（大声を出す、離席する等）については、反応しない |
|  | 予定を視覚的に表示する |
|  | 予定を変更する場合は、事前に伝え、変更後の予定が理解しやすいよう視覚的に表示する |
|  | 自分でスケジュールを作ったりメモをとったりする |
|  | 混乱を引き起こす状況（大きな物音、人の多さ、雰囲気等）をあらかじめ可能な限り排除する |
|  | 問題行動への対処方法をあらかじめ決めておく |
|  | 他の子供たちへその子の特性について理解してもらえるよう工夫して伝える |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 作　業 |  | 手順を視覚的に提示する |
|  | 作業や課題は達成可能な量になるように調整する |
|  | 活動内容や活動量を子供と相談し、自分で決めさせる |
|  | 開始、終了時間を事前に伝える |
|  | 「がんばる」「しっかりやる」などの目標ではなく、具体的な目標を設定する |
|  | モデルを示す |
|  | 活動後の強化子を準備する、事前に伝える |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |